

(別紙様式第 1 2 号)

「チェックについて」

- ・①～⑰までの各項目に解説書を参考)にそれぞれ「申請時 (します) 」又は、「該当しない」にチェックを入れてください。
- ※チェック (✓) は各項目の「申請時 (します) 」か「該当しない」のどちらか一方に入れてください。
- ・「報告時 (しました) 」にはチェックはいれないでください。

「例」

飼料生産を行っていない場合は「該当しない」にチェック
※「該当しない」にチェックを
いれた方は、「申請時」のチェック
は不要です。

※この項目は飼料生産を行う場
合にチェックを入れてください。

※飼養羽数が2,000羽以上
の生産者様が対象。

環境負荷低減のクロスコンプライアンス チェックシート
(畜産経営体向け)

事業名：家畜防疫互助基金支援事業
組織名・代表者氏名：
住所：
連絡先：

Ver2.1

申請時 (します)		報告時 (しました)
	(1) 適正な施肥	
①	※飼料生産を行う場合 (該当しない ✓) 肥料の適正な保管	☐
②	※飼料生産を行う場合 (該当しない ✓) 肥料の使用状況等の記録・保存に努める	☐
申請時 (します)	(2) 適正な防除	報告時 (しました)
③	※飼料生産を行う場合 (該当しない ☐) 病害虫・雑草が発生しにくい生産条件の整備を 検討	☐
④	※飼料生産を行う場合 (該当しない ☐) 農薬の適正な使用・保管	☐
⑤	※飼料生産を行う場合 (該当しない ☐) 農薬の使用状況等の記録・保存	☐
申請時 (します)	(3) エネルギーの節減	報告時 (しました)
⑥	畜舎内の照明、温度管理等施設・機械等の使用 や導入に際して、不必要・非効率なエネルギー 消費をしないように努める	☐
申請時 (します)	(4) 悪臭及び害虫の発生防止	報告時 (しました)
⑦	悪臭・害虫の発生防止・低減に努める	☐
⑧	※飼養頭数が一定規模以上の場合 (該当しない ☐) 家畜排せつ物の管理基準の遵守	☐
申請時 (します)	(5) 廃棄物の発生抑制、 適正な循環的な利用及び適正な処分	報告時 (しました)
⑨	プラ等廃棄物の削減に努め、適正に処理	☐
申請時 (します)	(6) 生物多様性への悪影響の防止	報告時 (しました)
⑩	※特定事業場である場合 (該当しない ✓) 排水処理に係る水質汚濁防止法の遵守	☐
申請時 (します)	(7) 環境関係法令の遵守等	報告時 (しました)
⑪	みどりの食料システム戦略の理解	☐
⑫	関係法令の遵守	☐
⑬	GAP・HACCPについて可能な取組から実践	☐
⑭	アニマルウェルフェアの考えに基づいた飼養 管理の考え方を認識している	☐
⑮	農業機械等の装置・車両の適切な整備と管理 の実施に努める	☐
⑯	正しい知識に基づく作業安全に努める	☐
⑰	※和牛生産を行っている場合 (該当しない ☐) 家畜改良増殖法及び家畜遺伝資源に係る不正 競争防止に関する法律の遵守	☐

＜報告内容の確認と個人情報の取り扱いについて＞

- ・ 本チェックシートにて報告された内容については、農林水産省が対象者を抽出し、実施状況の確認を行います。
- ・ 記入いただいた個人情報については、本チェックシートの実施状況確認のために農林水産省で使用し、ご本人の同意がなければ第三者に提供することはありません。

上記について、確認しました→

「組織名・代表者名」

互助の申込者の氏名をご記入ください。
※法人の方は会社名を、個人事業主の方は個人名

「例」

法人：〇〇株式会社
個人：東京 太郎

※養鶏は非該当

チェックを入れてください